

基本施策	(1) 社会の中で自立して生きる基盤となる力の育成	(2) 次代を担い、生涯をいきいきと生きる力の育成
------	---------------------------	---------------------------

1 はぐくみ指標の達成状況

	後期計画		第 1 期計画		
	H21策定時	H26策定時	H31結果	H31目標	達成状況
「自分によいところがある」と思うこどもの割合（※）					
小学生	68.7%	71.2%	74.7%	80%	・目標に達していないが、数値は改善 ・全国データも数値は改善
中学生	55.1%	60.4%	67.4%		
「将来の夢や目標を持っている」と答えるこどもの割合（※）					
小学生	84.5%	84.5%	80.5%	85%	・改善が進んでいない ・全国データも数値は悪化
中学生	69.2%	67.5%	66.1%		
「人の役に立つ人間になりたい」と思うこどもの割合（※）					
小学生	90.1%	92.0%	94.1%	93%	・目標に達していないが、数値は改善 ・全国データも数値は改善
中学生	88.1%	92.0%	92.5%		

(※) 全国学力・学習状況調査(H21・H26・H31)

(参考) 全国データ

	H21	H26	H31
「自分によいところがある」と思うこどもの割合(※)			
小学生	74.6%	76.2%	81.3%
中学生	61.4%	67.3%	74.1%
「将来の夢や目標を持っている」と答えるこどもの割合(※)			
小学生	86.3%	86.7%	83.8%
中学生	71.0%	71.5%	70.5%
「人の役に立つ人間になりたい」と思うこどもの割合(※)			
小学生	92.6%	94.1%	95.2%
中学生	90.4%	93.9%	94.4%

2 個別の取組の状況

(1) 5年間の評価

〈取組数：78〉

予定通り 進捗	予定通り進捗 しなかった	終了
72	0	6

- 基本方向1は、72の取組が順調に推移しています。

(2) 「予定通り進捗しなかった」取組

該当する取組はありません。

(3) 「終了」の取組

- (22) 学習サポーターの配置 ※
- (27) 理科支援員配置事業 ※
- (28) 放課後ステップアップ事業
- (59) 青少年芸術体験事業 ※
- (74) キャリア形成支援(若者のためのライフデザイン支援事業)
- (75) キャリア形成支援(体験型指導プログラムの構築)

※(22)(27)(59)は他の取組に統合

(4) 拡充した取組など

- ❶ 小学校での授業時間終了後の児童いきいき放課後事業において、平成30年度から自主学習に適した学習環境の整備や学校図書館の活用などにより、低学年からの自主学習習慣の定着を図りました。また、多様な利用者ニーズに対応するため、5人以上の希望で時間延長を行うこととしました。

【第2期計画：基本方向1(1)施策5】

- ❷ 学校外教育等にかかる費用を月額1万円を上限に助成する塾代助成事業を平成25年12月から全区で実施しています。全区展開時は、市立中学校の就学援助被認定者又は生活保護受給者を対象としていましたが、平成27年10月から市内在住の中学生の約5割が対象となるよう所得要件を緩和し、対象者の範囲を拡大しました。

【第2期計画：基本方向1(1)施策5】

(5) 今後の取組の方向性

継続	終了
72	6※

※ 終了のうち3の取組は他の取組に統合

3 計画策定後の新たな取組など

- ❶ すべてのこどもが等しく教育を受けられる環境をつくるため、国に先駆け、平成28年4月から5歳児を対象に幼児教育の無償化を開始しました。平成29年4月には4歳児、平成31年4月からは3歳児を対象とし、拡充しました。

【第2期計画：基本方向1(1)施策1】

- ❷ 平成29年度に保育・幼児教育に関する研修・研究等の機能を集約した「大阪市保育・幼児教育センター」を開設し、「就学前教育カリキュラム」の普及・活用をはじめ、様々な研修・研究等を通じて、保育・幼児教育の質の向上を図っています。

【第2期計画：基本方向1(1)施策1】

- ❸ ICTを活用した教育の推進を行うため、全小中学校の校内LAN・インターネット回線の増強を進め、令和元年度に環境整備が完了しました。平成28年度から、1校あたり基本40台のタブレット端末等機器の導入を順次行い、学校教育におけるICT活用の環境整備を進めています。

【第2期計画：基本方向1(1)施策2】

- ❹ 国際社会における生きる力の育成として、平成29年度から全小中学校で「小学校低学年からの英語教育」を実施し、小・中学校9年間を一貫させた英語教育を推進しています。

【第2期計画：基本方向1(1)施策2】

- ❺ 学校の部活動指導体制の充実並びに教員の長時間勤務の解消を図るため、平成30年度より部活動指導に従事する部活動指導員の配置を開始しました。令和元年度には増員して配置を行い、今後も順次拡充を図っていきます。

【第2期計画：基本方向1(1)施策4】

地域子ども・子育て支援事業

資料 1

事業名	年度	計画における値	
		①量の見込み	②確保の内容
		単位：人	単位：人
児童いきいき放課後事業 ・留守家庭児童対策事業 (低学年) 【登録児童数】	27年度	24,556	29,491
	28年度	24,563	29,491
	29年度	24,516	29,491
	30年度	24,613	29,491
	31年度	24,709	29,491
※上記のうち国の放課後児童健全 育成事業補助対象量（留守家庭児 童対策事業及び一部の児童いきい き放課後事業が該当） 【登録児童数】	27年度	3,311	4,729
	28年度	3,311	4,729
	29年度	3,307	4,729
	30年度	3,316	4,729
	31年度	3,325	4,729
		単位：人	単位：人
児童いきいき放課後事業 ・留守家庭児童対策事業 (高学年) 【登録児童数】	27年度	13,092	13,813
	28年度	13,013	13,813
	29年度	13,148	13,813
	30年度	13,425	13,813
	31年度	13,434	13,813
※上記のうち国の放課後児童健全 育成事業補助対象量（留守家庭児 童対策事業及び一部の児童いきい き放課後事業が該当） 【登録児童数】	27年度	1,352	2,320
	28年度	1,345	2,320
	29年度	1,356	2,320
	30年度	1,380	2,320
	31年度	1,381	2,320

年度	確保実績		利用実績	
	③確保実績	達成状況 (③／②)	利用実績	伸び率
	単位：人		単位：人 (各年5月時点)	
27年度	30,472	103.3%	30,472	—
28年度	31,551	107.0%	31,551	3.5%
29年度	32,223	109.3%	32,223	2.1%
30年度	32,956	111.7%	32,956	2.3%
31年度	33,887	114.9%	33,887	2.8%
27年度	4,798	101.5%	4,798	—
28年度	5,308	112.2%	5,308	10.6%
29年度	8,165	172.7%	8,165	53.8%
30年度	10,841	229.2%	10,841	32.8%
31年度	11,134	235.4%	11,134	2.7%
	単位：人		単位：人 (各年5月時点)	
27年度	13,666	98.9%	13,666	—
28年度	14,695	106.4%	14,695	7.5%
29年度	15,321	110.9%	15,321	4.3%
30年度	15,400	111.5%	15,400	0.5%
31年度	15,789	114.3%	15,789	2.5%
27年度	2,316	99.8%	2,316	—
28年度	2,529	109.0%	2,529	9.2%
29年度	3,961	170.7%	3,961	56.6%
30年度	5,187	223.6%	5,187	31.0%
31年度	5,653	243.7%	5,653	9.0%